

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (令和8年3月17日)

法人名	特定非営利活動法人ロジェ	代表者	神保 康佑	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所の特性でもある、通い・泊り・訪問を柔軟に組み合わせご利用者様、一人ひとりの生活スタイルに応えられるサービス提供を行っております。緑に囲まれた普通の家のようなアットホームな雰囲気の中でゆったりとした時間をお過ごしいただけます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ロジェおおやま	管理者	神保 康佑		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	2人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	昨年度の各評価項目を振り返りながら、スタッフ一丸となり取り組む。	ケアマネ以外にも各利用者様の近況を伝える機会を増やす。又、その際に御家族様の意向も確認してケアに反映できた。	・利用されている皆様がこれからも笑顔で楽しく過ごせるよう頑張ってください。	この度の各評価項目を振り返りながら、スタッフ一丸となり取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	アットホームな雰囲気を大切に皆様が思い思いに過ごす事ができるように日中の和室を開放する。	和室や小上がりを開放して、個別性に合わせたケアを行うことができた。	・いつもキレイで家庭の雰囲気がりとてもいい。	『住み慣れた家』の雰囲気を大切に、個別性に応じた居室・空間の使い分けを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者様と散歩に出かけたりした際は地域の皆様方と利用者様を交えた会話を大切にする。	冬季の外出は難しいが、季節や気候に応じて散歩やドライブに出かける事が出来た。	・どんが祭り囃子団の巡演見物の様子や日頃の外出・活動の様子等を見て、皆様の表情が良いと感じる。	継続して散歩を行っていく。ボランティアや慰問の受け入れ体制を整え、地域交流の促進を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	雛祭り・どんが祭り等、町のイベントへ積極的に参加する。	地域のイベントに参加する事ができた。	・外出の機会を定期的に設けているのがわかる。	継続して、地域行事・イベントに参加をしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	活動内容を理解して頂くと共に、認知症に関する対応事項を周知し、何かあった際にはお力添えを頂けるよう理解を深める。	適格なアドバイス・貴重なご意見を頂戴し、事業運営に反映できている。	・利用状況や事故等の報告について、いつも説明されている。	事業所内の報告・検討事例だけでなく、地域の皆様の心配事や事例検討の場としても会議を活かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	ロジェBCPを見直しし、災害時の応援協力体制を整備する。	消防訓練2回実施。(実施まで期間が空いてしまった。立て続けに行う為、半年スパンで計画行う)BCP策定見直し済。	・も火の元には十分に気をつけて欲しい。	ロジェBCPを周知し、地域の皆様と共に支えあう関係性を構築する。

